

高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第5週〔2月1日～2月7日〕

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>
 E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

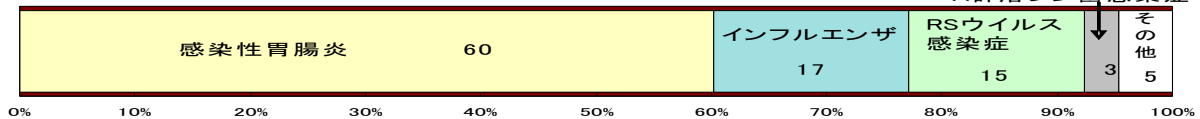
県内情報

○ 患者情報総評

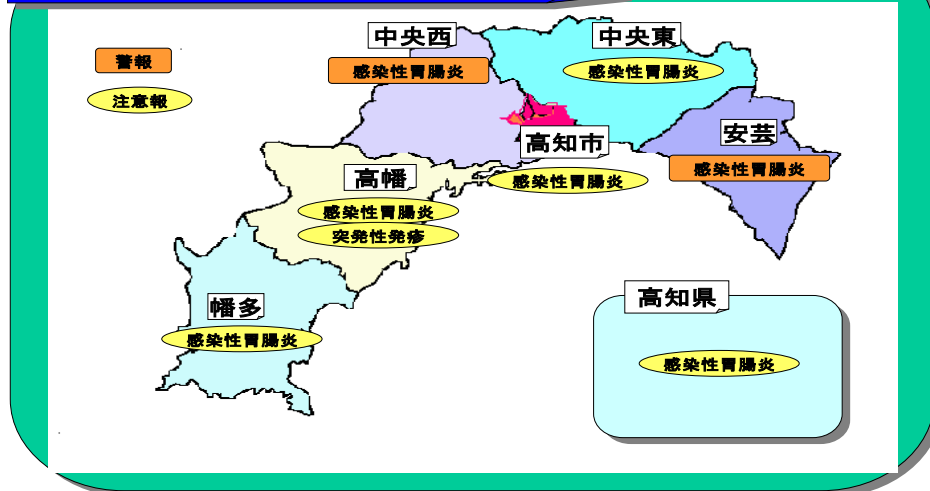
注意報発令疾患：感染性胃腸炎

- ・ 天気は回復したが、寒気が強まり寒さの厳しい1週間となった。
- ・ 感染性胃腸炎（中央西：警報→警報，安芸：注意報→警報，高知市：注意報，幡多：警報→注意報，高幡：注意報→注意報，中央東：注意報）は幡多と高幡で減少したが，その他の地域で増加し，総数はさらに増加した。
- ・ インフルエンザは引き続き全ての地域で減少し，総数は大幅に減少した。
- ・ RSウイルス感染症は前週の1.4倍に増加し，例年同時期と比較して平成19年に次ぐ報告数となった。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は安芸と高知市を除く地域で増加し，総数はやや増加した。

上位疾患構成図



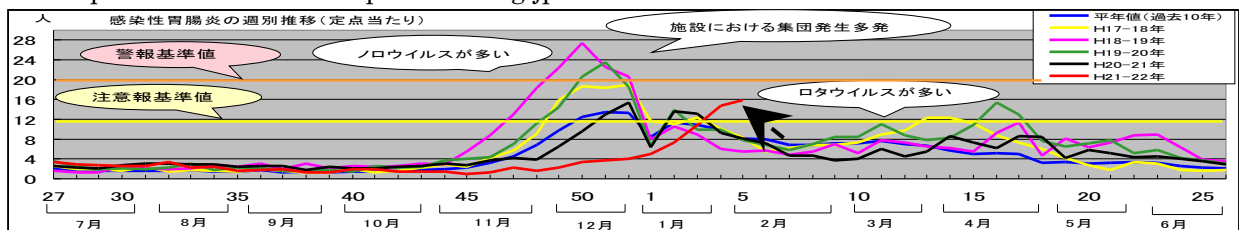
地域別感染症注意報・警報発生状況 第5報（2010年2月1日～2010年2月7日）



感染性胃腸炎：今週15.83（注意報値：12.00 警報値：20.00）

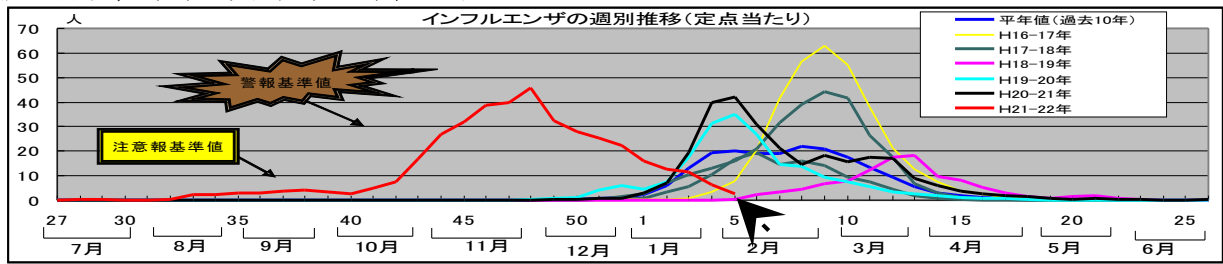
全ての地域で注意報値を超し，安芸と中央西では警報値を超している。今週は中央西1件，中央東1件の合計2件のNorovirusによる集団感染が確認された。また，搬入された検体からもNorovirus GIIが8件検出されており，今後も引き続き注意が必要である。予防策としては，帰宅時や食事前等の十分な手洗いとうがいが必要である。その他ノロウイルス対策として「高知県ノロウイルス対策マニュアル」が下記のホームページに掲載されているので，参考にして頂きたい。

<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/kansenshou/noro.html>



インフルエンザ：今週2.79（注意報値：10.00 警報値：30.00）

総数は前週の約45%に減少した。現在のところ、高知県ではInfluenza virus AH1pdm（新型）のみで、季節性は検出されていないが、インフルエンザの流行シーズンであり、今後の動向にはまだ注意が必要である。施設別発生状況については、1月31日～2月6日の1週間で、患者数81名、6施設で休校、学年・学級閉鎖の措置が取られている。



○ **検査情報**

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
42	ヘルパンギーナ	2歳女	高知市	Coxsackievirus A10
43	ヘルパンギーナ	1歳男	高 幡	Coxsackievirus A6
46	手足口病	2歳男	高 幡	Coxsackievirus A6
46	手足口病	11ヵ月女	高 幡	Coxsackievirus A10
47	手足口病	1歳男	高知市	Coxsackievirus A6
49	発疹	2歳男	高知市	Coxsackievirus A6
5	感染性胃腸炎	10ヵ月男	高知市	Adenovirus 40/41
5	感染性胃腸炎	10ヵ月男	高知市	Adenovirus 40/41
5	感染性胃腸炎	14歳男	高 幡	Norovirus G II
5	感染性胃腸炎	2歳男	高 幡	Norovirus G II
5	感染性胃腸炎	4歳男	高 幡	Norovirus G II
5	感染性胃腸炎	2歳男	高 幡	Norovirus G II
5	感染性胃腸炎	4歳女	高 幡	Norovirus G II
5	感染性胃腸炎	2歳男	高 幡	Norovirus G II
5	感染性胃腸炎	4ヵ月男	高 幡	Norovirus G II
5	感染性胃腸炎	9歳男	高 幡	Norovirus G II

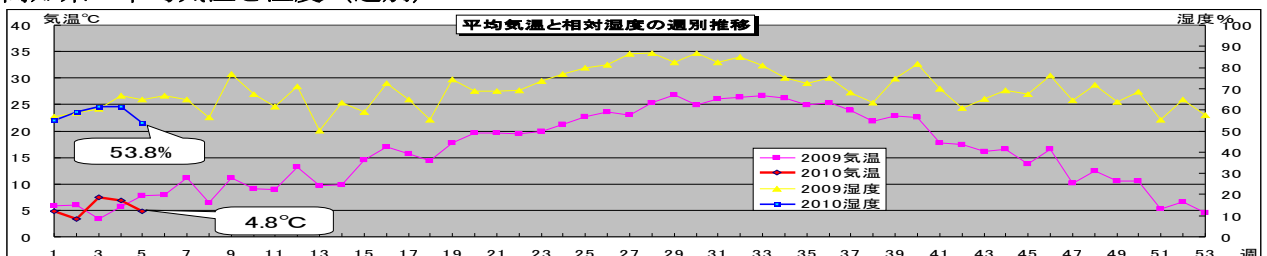
インフルエンザ（Influenza virus AH1pdmのみ）が17件検出された。

地域	年齢区分			総計
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	
高知市		2		2
高 幡	2	7	6	15
総計	2	9	6	17

○ **全数報告の感染症情報**

2類感染症：結核 2例（56歳女，83歳男）《高知市》（今年15例）

○ **高知県の平均気温と湿度（週別）**



○ **定点からの地域ホット情報**

幡多：

《木俵病院小児科》：インフルエンザの3例は全てA型陽性

《さたけ小児科》：インフルエンザの7例中5例はA型陽性，2例は臨床診断

《幡多けんみん病院内科》：インフルエンザの1例はA型陽性

《松谷内科》：インフルエンザの1例は予防接種歴なし A群溶血性レンサ球菌感染症 1例（8歳男）

高幡：

《須崎くろしお病院内科》：インフルエンザの1例はA型陽性

《もりはた小児科》：インフルエンザの13例は全てA型陽性，うち4例は新型ワクチン接種歴あり
帯状疱疹 1例（1歳男：水痘罹患歴あり）
（4週）カンピロバクター腸炎 1例（14歳女）

中央西：

《石黒小児科》：インフルエンザの10例は全てA型陽性，うち1例は予防接種歴あり
《くぼたこどもクリニック》：感染性胃腸炎の1例（2歳男）は高知市，1例（7歳男）は須崎市，
2例（3,4歳女）は津野町

《土佐市民病院内科》：インフルエンザの8例は全てA型陽性

高知市：

《細木病院小児科》：*Campylobacter jejuni* 1例（9歳女）
《矢野小児科》：インフルエンザの3例中1例は予防接種歴あり
《福井小児科・内科》：インフルエンザの4例は全てA型陽性
《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの15例は全てA型陽性，うち1例は予防接種歴あり
アデノウイルス扁桃炎 1例（1歳男）

《塩見クリニック》：インフルエンザの1例はA型陽性
《依岡内科》：インフルエンザの1例（29歳女）はA型陽性
《細木病院内科》：インフルエンザの1例はA型陽性
《近森病院内科》：インフルエンザの5例中1例はB型陽性，予防接種歴ありは1例，なしは1例
《高知医療センター内科》：インフルエンザの1例はA型陽性，予防接種歴なし

中央東：

《吉本小児科皮膚科》：インフルエンザの1例はA型陽性
《早明浦病院小児科》：保育園でRSウイルス感染症が流行中
《いちほら内科小児科》：インフルエンザの4例は全てA型陽性
《JA高知病院内科》：インフルエンザの3例は全てA型陽性
《野市中央病院内科》：インフルエンザの1例（29歳男）は全てA型陽性

安芸：

《県立安芸病院小児科》：インフルエンザの16例中3例はA型陽性，1例はB型陽性

全国情報第3週（1/18～1/24）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核301例

3類感染症：コレラ1例、細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症14例（有症者9例、うちHUS なし）

4類感染症：A型肝炎1例、つつが虫病4例、マラリア1例、レジオネラ症10例

5類感染症：アメーバ赤痢12例、ウイルス性肝炎（サイトメガロウイルス）2例、急性脳炎5例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群17例（AIDS 3例、無症候14例）、梅毒8例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、麻しん10例

報告遅れ：マラリア1例、レプトスピラ症1例、急性脳炎6例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、風しん1例

◆インフルエンザ

2010年第3週のインフルエンザの定点当たり報告数は9.03（報告数43,436）となり、前週の定点当たり報告数8.13よりも増加した。都道府県別では沖縄県（36.72）、宮崎県（17.80）、山梨県（17.55）、静岡県（17.25）、福井県（15.59）、鹿児島県（14.18）、熊本県（13.43）、島根県（13.26）、愛知県（13.21）、福島県（11.95）の順となっている。定点当たり報告数は、33都道府県では前週よりも増加がみられ、10.00を超えているのは19県となった。

定点医療機関からの報告数をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を1週間に受診した患者数を推計すると約48万人（暫定値）と前週と同じ値であり、第28週以降これまでの累積の推計受診患者数は約1,971万人（95%信頼区間：1,951万人～1,991万人）（暫定値）となった。

性別では男性約1,020万人（51.7%）、女性約952万人（48.3%）であり、年齢群別では5～9歳約498万人（25.3%）、10～14歳約461万人（23.4%）、15～19歳約273万人（13.9%）、0～4歳約217万人（11.0%）、20～29歳約207万人（10.5%）、30～39歳約145万人（7.4%）の順となっている。5～9歳、10～14歳の年齢群の推計受診患者数は2週連続で増加しているが、15～19歳、20代、30代、40代は減少している。但し、推計受診患者数は、受診患者数の多い医療機関がより多く選定されている傾向があることなどから、真の受診患者数より過大であると考えられている。この点を踏まえ、推計受診患者数についてはあくまで参考値として理解していく必要がある。

日本で新型インフルエンザウイルスAH1pdmが検出された2009年第19週以降2010年第3週までに、全国の地方衛生研究所から26,436件のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、そのうちAH1pdmは25,364件（95.94%）を占めている。また、特に患者報告数が増加し始めた2009年第28週以降では、2010年第3週までに24,174件のインフルエンザウイルスの検出が報告され、AH1亜型（Aソ連型）18件（0.07%）、AH3亜型（A香港型）146件（0.60%）、B型7件（0.03%）、AH1pdm（新型インフルエンザウイルス）24,003件（99.29%）とインフルエンザウイルスの検出報告数の大半をAH1pdmが占めており、現在国内で発生しているインフルエンザの殆どは新型インフルエンザによるものであると推定される状態が続いている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(4週)	高知県(5週末累計) H22/1/4~H22/2/7
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ	16	12	59	21	15	11	134 (2.79)	297 (6.19)	31,049 (6.46)	2,374 (49.46)
	咽頭結膜熱						1	1 (0.03)		437 (0.14)	2 (0.07)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		5	11	2	3	7	28 (0.93)	23 (0.77)	4,272 (1.41)	124 (4.13)
	感染性胃腸炎	40	86	180	68	26	75	475 (15.83)	443 (14.77)	43,403 (14.31)	1,615 (53.83)
	水痘		6	6	1		3	16 (0.53)	42 (1.40)	3,525 (1.16)	123 (4.10)
	手足口病			2				2 (0.07)	3 (0.10)	451 (0.15)	9 (0.30)
	伝染性紅斑			1				1 (0.03)		311 (0.10)	6 (0.20)
	突発性発疹		3	2		4	2	11 (0.37)	7 (0.23)	1,557 (0.51)	45 (1.50)
	百日咳			1				1 (0.03)		65 (0.02)	2 (0.07)
	ヘルパンギーナ								3 (0.10)	73 (0.02)	7 (0.23)
	流行性耳下腺炎		1	2		1		4 (0.13)	3 (0.10)	2,315 (0.76)	26 (0.87)
	RSウイルス感染症		19	83		6	12	120 (4.00)	84 (2.80)	4,742 (1.56)	328 (10.93)
アフター性口内炎								4 (0.13)		12 (0.40)	
眼科	急性出血性結膜炎									9 (0.01)	
	流行性角結膜炎								1 (0.33)	312 (0.46)	2 (0.67)
基幹	細菌性髄膜炎									9 (0.02)	
	無菌性髄膜炎									6 (0.01)	
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.14)	1 (0.14)	143 (0.31)	3 (0.43)
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									11 (0.02)	1 (0.14)
計 (小児科定点当たり人数)	56 (24.00)	132 (18.23)	348 (29.87)	92 (27.87)	55 (23.75)	111 (21.38)	794 (24.76)				
前週 (小児科定点当たり人数)	57 (23.50)	146 (18.47)	349 (27.74)	99 (29.13)	73 (30.75)	187 (34.03)		911 (26.59)	92,690	4,679 (126.09)	

定点当たり 第5週

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週
			中央東	高知市	中央西				
内科・小児科	インフルエンザ	4.00	1.09	3.69	4.20	3.75	1.38	2.79	6.19
	咽頭結膜熱						0.20	0.03	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.71	1.00	0.67	1.50	1.40	0.93	0.77
	感染性胃腸炎	20.00	12.29	16.36	22.67	13.00	15.00	15.83	14.77
	水痘		0.86	0.55	0.33		0.60	0.53	1.40
	手足口病			0.18				0.07	0.10
	伝染性紅斑			0.09				0.03	
	突発性発疹		0.43	0.18		2.00	0.40	0.37	0.23
	百日咳			0.09				0.03	
	ヘルパンギーナ								0.10
	流行性耳下腺炎		0.14	0.18		0.50		0.13	0.10
	RSウイルス感染症		2.71	7.55		3.00	2.40	4.00	2.80
アフター性口内炎								0.13	
眼科	急性出血性結膜炎								
	流行性角結膜炎								0.33
基幹	細菌性髄膜炎								
	無菌性髄膜炎								
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.14	0.14
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								
計 (小児科定点当たり人数)	24.00	18.23	29.87	27.87	23.75	21.38	24.76		
前週 (小児科定点当たり人数)	23.50	18.47	27.74	29.13	30.75	34.03		26.59	

2010年週報推移(定点当たり)

